



サイクロモータプーリ[®]

モーター直結形
サイクロ[®]減速機内蔵プーリドラム



住友のサイクロモータプーリは

堅牢で長寿命です

サイクロモータプーリはプーリドラム内にモータ直結形サイクロ[®]減速機を内蔵したものです。

したがってサイクロ減速機の長所がそのまま生かされており構造並びに取扱いが簡単です。



1. 特 長

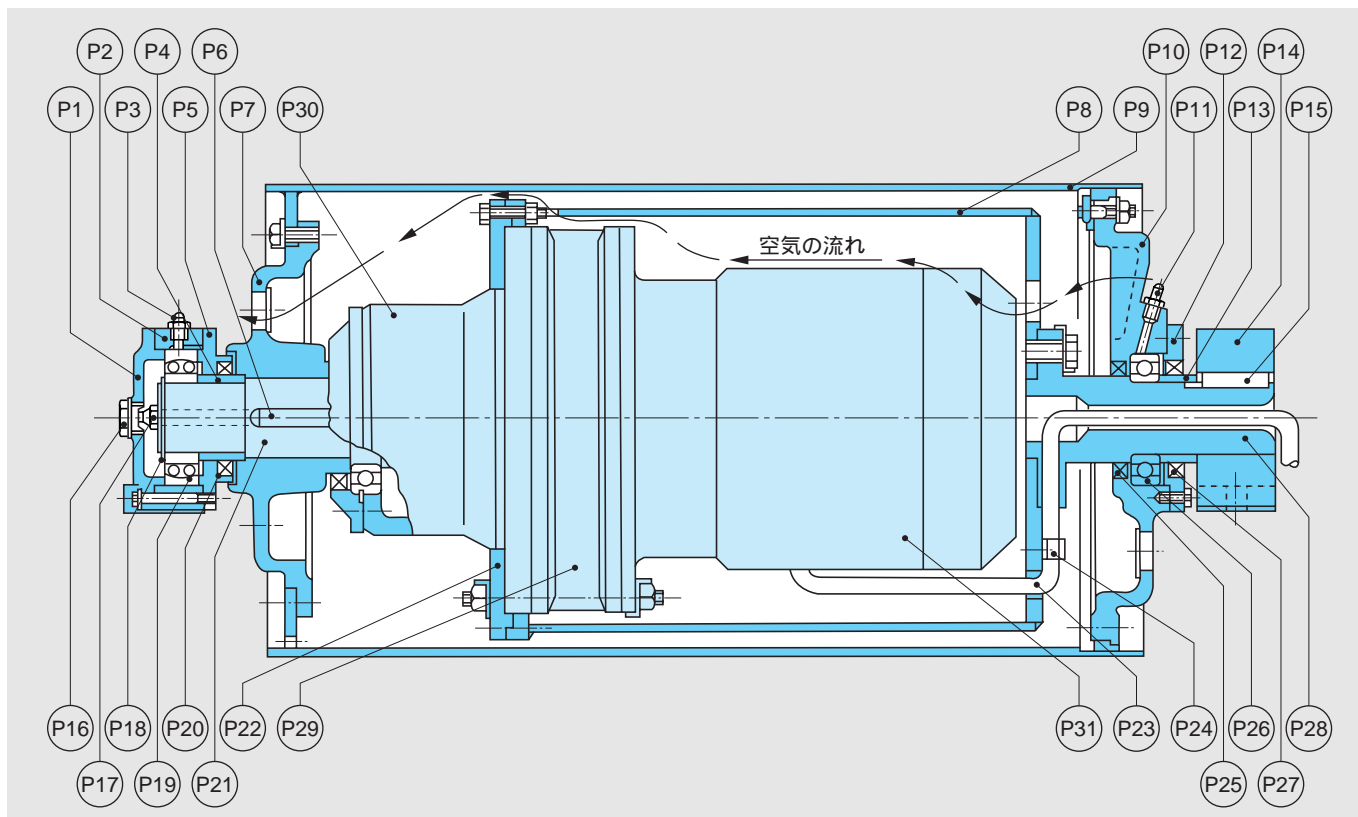
- (1) 堅牢で長寿命です。
- (2) 効率が良く運転が円滑、静粛です。
- (3) コンパクトで軽量です。
- (4) 保守が簡単で故障がありません。
- (5) ドラム周速度を豊富なシリーズより選べます。

2. 形 式

CPM 2 - 4145 - 87

- 減速比
- サイクロ減速機枠番
- 電動機容量記号
- サイクロモータプーリ

3.構造



上図に示すとおり、プーリドラム(P9)に内蔵されたサイクロ減速機の枠(P29)及び外カバー(P30)は、固定筒(P8)によって固定軸(P28)に固定された固定軸は軸止台(P14)に、キー止めされています。

電動機の回転は、サイクロ減速機によって減速され、低速軸(P21)よりブラケット〔I〕(P7)を介してドラム(P9)を回転させます。

ドラムの他の端は、ブラケット〔II〕(P10)を介して軸受(P26)により支えられています。また低速軸端は軸受箱(P2)の軸受により支えられています。

モータキャプタイヤケーブル(P23)は固定軸(P28)の中を通過して電源と接続される構造になっています。

表 1

符号	名 称	符号	名 称	符号	名 称
P1	軸受箱カバー〔I〕	P12	ブラケットカバー	P23	キャプタイヤケーブル
P2	軸受箱	P13	ディスタンスピース	P24	ケーブル取付金物
P3	グリースニップル	P14	軸止台	P25	オイルシール
P4	ディスタンスピース	P15	キー	P26	玉軸受
P5	軸受箱カバー〔II〕	P16	補給口栓	P27	オイルシール
P6	キー	P17	グリースニップル	P28	固定軸
P7	ブラケット〔I〕	P18	スナップリング	P29	枠
P8	固定筒	P19	玉軸受	P30	外カバー
P9	ドラム	P20	オイルシール	P31	電動機
P10	ブラケット〔II〕	P21	低速軸		
P11	グリースニップル	P22	外カバー取付金物		

6. 保 守

サイクロモータプーリの潤滑方式にはグリース潤滑と油潤滑の2種類があります。
種別については表2をご参照下さい。

(1) グリース潤滑

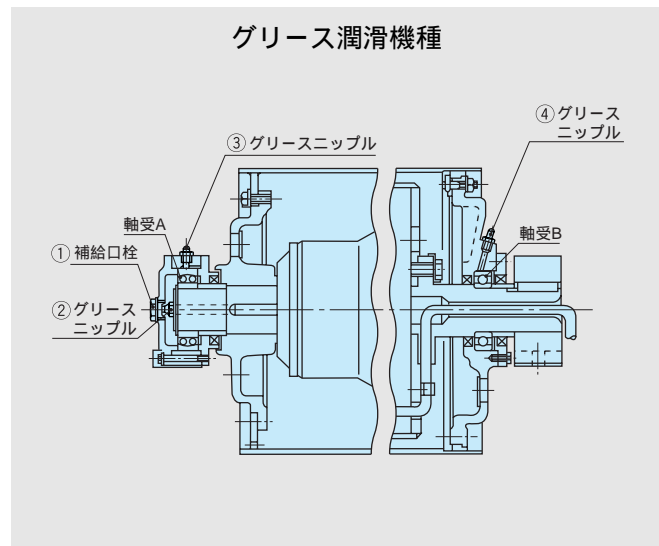
グリース潤滑機種はグリースを充填して出荷していますので、そのまま利用されて結構です。

① 標準グリース

表4

周囲温度	サイクロ減速機 軸受A、軸受B		電 動 機
	- 10 }	コスモ石油	昭和シェル石油
50	コスモグリース ダイナマックスSH No.2	アルバニア グリース 2	マルテンブ SRL

サイクロ減速機部及び軸受A、B部には工場出荷時コスモグリースダイナマックスSHNo.2を充てんしておりますがアルバニアグリース2と混用しても問題ありません。



② 補 給

(a) サイクロ減速機

補給口栓①を外し低速軸端のグリースニップル②から1000~2000時間を目安に補給してください。補給量は表5をご参照ください。
1年以上停止後、運転を開始するときも新しいグリースを補給してください。

(b) 軸受A、B部

グリースニップル③④より2500時間毎に補給してください。
補給量は表5をご参照ください。

(c) 電動機軸受

電動機の軸受には、シールドベアリングを使用していますので、補給の必要がありません。
なお2~3年を目安とした定期点検時に軸受ごと交換願います。

表5. グリース補給量、交換量(g)

周囲温度	周囲温度				軸受A		軸受B	
	周囲温度	交 換 量			補給量	交換量	補給量	交換量
		減速機構部1段目(入力側)	減速機構部2段目(中間側)	低速軸受部(出力側)				
CPM05-4105	35	100	-	110	3	8	3	8
CPM 1-4115	80	240	-	140		10		
CPM 1-4135	150	450	-	300	5	15	5	15
CPM 2-4135					10	25	10	25
CPM 3-4135	25	65	450	300	5	15	5	15
CPM 1-4130DC					5	15	5	15
CPM 1-4135DC	150	450	-	300	10	25	10	25
CPM 2-4145								
CPM 3-4165	250	750	-	300	10	25	10	25
CPM 2-4160DB	50	65	750	300				
CPM 3-4160DC		150						
CPM 5-4165	250	250	-	300	15	35	15	40
CPM 8-4165					20	55	20	55
CPM10-4165								

③ 交 換

サイクロ減速機部、軸受A及びB部のグリースは2~3年を目安とした定期点検時に新しいグリースと交換願います。
充てん量は表5の交換量をご参照ください。

(2) 油 潤 滑

油潤滑機種は、油を抜いて出荷していますので、必ず運転前に規定位置まで給油してください。

① 給油（サイクロ減速機及び軸受A部）

軸受箱上部にある給油栓より、表6の油量を目安にオイルゲージの上の赤線まで給油してください。

オイルゲージはサイクロ減速機の外カバーに装着されており、ブラケット〔I〕の窓枠を通して見るができます。潤滑油は工業用極圧ギヤ油 SP系をご使用ください。

（推奨潤滑油についてはお問合せください）

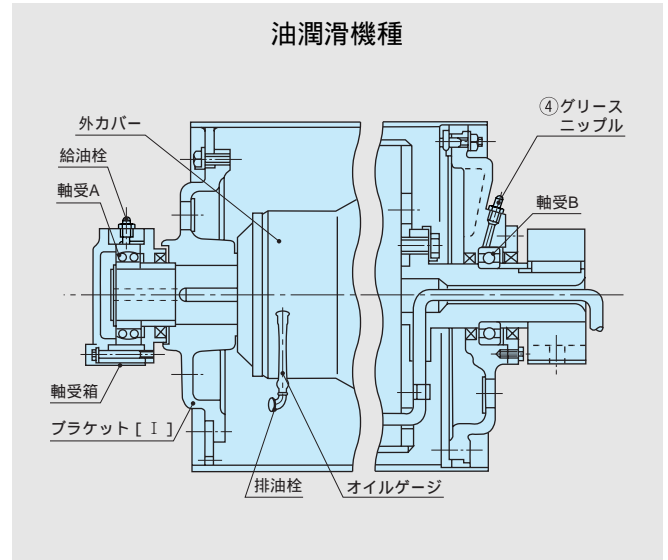


表6.給油量

形式	CPM5-4175	CPM8-4175	CPM10-4175	CPM3-4170DC	CPM5-4175DC	CPM8-4185	CPM10-4185
油量	1.5 ℓ			2.0 ℓ		2.0 ℓ	

② 排 油（サイクロ減速機及び軸受A部）

排油は、排油栓を外して行ないます。排油栓の寸法は、表7をご参照ください。

排油の際、ドラム内にオイルがあふれ出ない用注意してください。

又軸受箱据付部の設計に際し、排油のスペースを考慮してください。

③ 電動機軸受及び軸受B部のグリース補給交換

(a) 電動機軸受

グリース潤滑機種に準じてください。

(b) 軸受B部

グリース潤滑機種に準じてください。

補給量、交換量は表8をご参照ください。

表8.グリース補給量、交換量

形 式	軸 受 B 部	
	給油量	交換量
CPM 5 -4175	20 g	15 g
CPM 8 -4175		
CPM10-4175		
CPM 3 -4170DC		
CPM 5 -4175DC		
CPM 8 -4185		
CPM10-4185		

表7.排油栓寸法

形 式	排油栓 サイズD	S	K
CPM 3 -4170DC	1/4	189	105
CPM 5 -4175			
CPM 5 -4175DC			
CPM 8 -4175	1/4	195	56
CPM 8 -4185			
CPM10-4175	1/4	195	56
CPM10-4185			

④ 交換時期

(a) 油交換は表9を目安に行ってください。

表9

給油	交 換 時 期		使 用 条 件
	購 入 時		
油 交 換	初 回	500時間	～12時間/日 12～24時間/日 高温、多湿、活性ガス等の特殊環境下
		1回/半年	
	2回目 以降	1回/2500時間	
		1回/1～3ヵ月	

長期間停止後運転を開始する時は、必ず新油と交換してください。

(b) 軸受B部のグリース補給、交換時期は、グリース潤滑機種に準じてください。